

報告日 令和5年6月9日
報告回次 2日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高岡市			代表者名	角田 悠紀
担当者部署	情報政策課			連絡先電話番号	0766-20-1239
担当者役職	副課長	担当者氏名	早津 智樹	連絡先E-mail	joho@city.takaoka.lg.jp
住所	933-8601 富山県高岡市広小路7番50号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 理栄
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようになどころがよかったです等詳細に）	支援2日目の体験利用体験調査では、見るべき視点、今すぐにでも改善できそうなポイントなど、的確なご指摘をいただけた。内部からでは、気づけないことについてご指摘いただけたことは、気づきとなり、今後の改善すべき方向性の参考となつた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年6月9日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
3-2. 派遣場所	会場名	高岡市役所	最寄駅	高岡駅	
	所在地	富山県高岡市広小路7番50号	最寄駅からの交通手段	高岡駅より路面電車「万葉線」にて12分志賀野中学校前下車 徒歩5分	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市における窓口業務において、市民の目線に立った効率的、効果的な窓口業務とはどういった形なのか、またどのように改革していくかが課題である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	窓口利用体験調査をとおして、本市の窓口業務の現状を把握し、課題を認識する。課題を解決する方法を検討し、本市のあるべき窓口業務の方向性を見出していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	窓口利用体験調査の手順とその実施。アドバイザーから見た本市の窓口業務やフロアレイアウトの改善点、また業務エリア内の業務フローの現状の評価と改善点についてご助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回の窓口利用体験調査をとおして、本市における現在の窓口業務における課題を認識することができた。調査段階であり、具体的な改善については今後検討していく。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	支援2日目は、窓口利用体験調査であったため、持ち越し等はなし。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	令和7年度末、自治体情報システム標準化に合わせ、窓口業務改革(BPR)とシステム導入をすることにより、市民の目線に立った窓口に改革する。(前倒しが可能な部分については令和5年度、6年度から実施)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

